

岩手医科大学医歯薬総合研究所医療開発研究部門 西塚哲教授のグループの論文が
British Journal of Cancerで公開されています

Frequent post-operative monitoring of colorectal
cancer using individualised ctDNA validated by
multiregional molecular profiling

日本遺伝子研究所の
Hypercoolテクノロジー™を
用いていただきました!

▶▶ご紹介します！

岩手医科大学医歯薬総合研究所医療開発研究部門の西塚哲教授のグループの研究成果の論文が、British Journal of Cancer で公開されております。オープンアクセスとなっておりますので、是非ご覧ください。

この論文では、「遺伝子変異は腫瘍内の部位により異なるが、一カ所からの生検検体でも高アリル頻度の遺伝子変異を追跡すれば、dPCR による高感度血中循環腫瘍由来 DNA(ctDNA)モニタリングが可能である」ということが示されています。

Mizunori Yaegashi, Takeshi Iwaya, Noriyuki Sasaki, Masashi Fujita, Zhenlin Ju, Doris Siwak, Tsuyoshi Hachiya, Kei Sato, Fumitaka Endo, Toshimoto Kimura, Koki Otsuka, Ryo Sugimoto, Tamotsu Sugai, Lance Liotta, Yiling Lu, Gordon B. Mills, Hidewaki Nakagawa & Satoshi S. Nishizuka. "Frequent post-operative monitoring of colorectal cancer using individualised ctDNA validated by multiregional molecular profiling." British journal of cancer (2021): 1-10.

⇒詳細は[こちら](#)

この研究のdPCR用プライマー・プローブに、日本遺伝子研究所のHypercoolテクノロジー™が用いられています。

Hypercool Primer & Probe 合成について

⇒詳細は[こちら](#)

Hypercool Primer & Probe デザインについて

⇒詳細は[こちら](#)

西塚哲教授は、抗がん剤耐性・肝臓再生・システム医学を専門にご尽力されています。

医歯薬総合研究所医療開発研究部門のホームページ

⇒詳細は[こちら](#)